

30年後の世界へ

—「リベラル・アーツとしての東アジア学」を構想する

場所：東京大学駒場キャンパス 21KOMCEE East K011 曜日：金曜5限

回	月日	タイトル	担当教員
1	4月5日	ガイダンス	
2	4月19日	30年後の世界のための世界史	羽田正 東京大学副学長、世界史・比較歴史学
3	4月26日	Open Philosophy in East Asia	中島隆博 東京大学東洋文化研究所、中国哲学・比較哲学
4	4月30日 *火曜日	「天下」なき時代の「天下」論と新しい世界観	石井剛 東京大学大学院総合文化研究科、中国近代哲学・思想史
5	5月10日	戦争の記憶	藤原帰一 東京大学大学院法学政治学研究所、国際政治学
6	5月24日	Beyond Literary History: Criticism, Culture and Paradigmatic Shift in Literary Humanities in China	張旭東 ニューヨーク大学・北京大学、中国文学・批評理論
7	5月31日	30年かかってできた気候変化適応技術の はなし	小林和彦 茨城大学農学部、東京大学大学院農学生命科学研究科名誉教授、 大気環境学・農業気象学
8	6月7日	デジタルチャイナ： 第四次産業革命と人工知能の中国的展開	伊藤亜聖 東京大学社会科学研究所、中国経済論
9	6月14日	歴史と現在をつなぐ“深い学び”とは？ 日本と中国の現場からの考察	阿古智子 東京大学大学院総合文化研究科、社会学・中国研究
10	6月21日	文化と歴史の機軸について	高田康成 名古屋外国語大学現代国際学部、 東京大学大学院総合文化研究科名誉教授、表象文化論
11	6月28日	中国の農村をいかに表象するか	鈴木将久 東京大学大学院人文社会系研究科、中国文学
12	7月5日	主権とユートピア：沖縄をめぐる	高橋哲哉 東京大学大学院総合文化研究科、哲学
13	7月12日	まとめ	